

## 令和5年度都立竹台高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
<b>国語</b>	自ら学び、考え行動する学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるために、小テスト等のスモールステップの課題の実施</li> <li>○論理的に考える力や豊かに想像したりする力を伸ばす活動を授業内に実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他者との関わりの中で伝え合う力や考えを広げたり深めたりできるようなグループ活動の実施</li> <li>○変化の激しいこれからの社会に即した課題を設定し、自ら学び考える活動の実施</li> </ul>
<b>地理 歴史</b>	諸資料から様々な情報を適切、かつ効果的にまとめる力を育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文献史料や写真など史資料が充実した教材を通して、生徒が自分で調べることによって、授業内容を振り返り、新たな課題を見つけることができるような授業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各単元で横断的な問いを設定する。振り返りシートを用意し、授業後に振り返りと新しい課題を自分で見出す活動を実施する</li> </ul>
<b>公民</b>	公正な判断力を養う指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループワークやICT機器の利用等、資料の読解やグラフの読み取り、複数資料の比較を通じて、読解力・分析力・表現力を養う授業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現代における政治・経済の状況と基本的な知識を理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的・対話的に考察させる</li> </ul>
<b>数学</b>	事象を数学的に捉え、表現する学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事象を視覚的に認識し考察できる教材を導入</li> <li>○学びあい教えあいを積極的に取り入れた授業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価や改善をする活動の実施</li> </ul>
<b>理科</b>	「科学的に考える力」の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理科の見方・考え方を働かせ、「知識・技術」の確実な習得とともに「思考力・判断力・表現力」を育成ができる授業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現象を科学的に捉え、理科の見方・考え方を働かせ、「思考力・判断力・表現力」の育成に寄与する授業や教材開発を行う</li> </ul>
<b>保健 体育</b>	健康・安全について理解するとともに、運動技能を身に付けさせる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各授業ごとに「主体的に取り組む態度」「思考・判断・表現」「知識・技能」について指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学期「全体の取り組み状況」を鑑み、総合的に評価。レポート課題を実施。自らの健康や運動課題解決に向けて解決するワークシート等を実施</li> </ul>
<b>芸術</b>	「自ら表現すること」につなげる指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作品の創作や演奏において、自らの表現を探究する授業を実施</li> <li>○作品鑑賞において、作者の表現の意図を感じ取ることができる視点の学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作品の創作や演奏において、自らの表現の工夫を積極的に評価に取り入れた授業の実施</li> </ul>
<b>英語</b>	「話すこと」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各必修科目において、各学期に1～2回、パフォーマンステストを実施</li> <li>○各科目で帯活動として1分間スピーチの実施</li> <li>○授業内でのペアワークやグループワークの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オンラインでスピーキングテストを実施</li> <li>○オンラインで各科目の振り返りを実施</li> <li>○授業内でのストーリーリテリングの実施</li> </ul>
<b>家庭</b>	基礎的な知識、技術を身に付けさせる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実習を多く取り入れ、体験させる</li> <li>○自分で完成できたという達成感を持たせる授業の工夫</li> <li>○主権者・消費者教育を充実させ、自立した消費者としての考えを身に付ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が興味を持ち自主的に活動できる課題を行う</li> </ul>
<b>情報</b>	コンピュータやデータの活用について理解を深め、技能を習得させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎授業で数分間タイピング練習を実施する</li> <li>○文書作成ソフトや表計算ソフトの実務的な操作練習</li> <li>○VBAで簡単なシステムを構築しプログラミング的思考を養う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現代の社会的課題について自らテーマを選択し、レポート作成(情報収集・データ分析)</li> </ul>